

テーマ：北方領土（実践校）

根室管内 根室市立北斗小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・北方領土に対する関心、ふるさとに対する愛着や誇りを高めるために、北方領土の関係資料を展示する「北方館」を訪問したり、元島民や元島民2世からの講話を聞いたりするなど地域の施設や人材を活用しながら、北方領土の地理的特徴や産業、暮らしについて探究的な学習活動を展開しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

写真から気付いたことを整理することや地域の施設を活用した体験的な学習を想起することを通して、第4学年では「北方領土での暮らしについて調べ、カルタにまとめる」、第5学年では「北方領土の地形や産業などについて調べ、新聞等にまとめる」を探究課題に設定しました。

(2) 情報の収集

設定した課題の解決に向け、教科書や副読本、新聞及びインターネットなどの情報に加え、元島民と「北方館」を見学したり納沙布岬から北方領土を見たりすることで、北方領土に対する関心を高めるとともに地理的特徴や産業、暮らしについて調べました。また、オンラインで元島民2世にインタビューを行い、設定した課題の解決に向けて情報を収集しました。

(3) 整理・分析

北方領土の地理的特徴や産業、暮らしについて、調べた情報を座標軸などの思考ツールを活用して整理・分析することを通して、「食生活」、「生物」、「自然環境」などについて理解を深めたり、調べた内容と元島民2世の思いを関連付けて、自分にできることを考えたりしました。

(4) まとめ・表現

第4学年では、第3学年に北方領土を身近に感じてもらうために、調べたことを発表したり、正しい知識を伝えるために「カルタ」を作成し、交流活動を行ったりしました。第5学年では、調べた北方領土における地理的特徴や産業について感じたことや自分にできることについてまとめ、北方領土に対する自分の思いが伝わるように新聞等に表現しました。

②児童の感想等

- ・北方領土には4つの島があることしか知りませんでしたが、自分たちの生活と変わらない生活をしていることを知り、北方領土をより身近に感じることができました。（第4学年）
- ・根室市民と現在、北方領土に住んでいる人がお互いの暮らしを知ったり、力を合わせたりすることで北方領土問題を平和的に解決できると思いました。（第5学年）



【「北方館」の見学】



【元島民2世へのインタビュー】



【カルタを使った交流活動】

■取組の成果（○）と課題（●）

○ アンケートでは、「今、住んでいる地域の歴史や自然について関心がある」と回答した児童の割合が64%から96%に、「北方領土の自然や歴史、領土の返還についてもっと調べたいと思う」と回答した児童の割合が82%から85%に増加するなど、北方領土に対する関心、ふるさとに対する愛着や誇りを高めることができました。

● 学校教育目標を踏まえ、北方領土学習を通して育成する資質・能力を明確にするとともに、中学校区において北方領土学習における系統性を整理し、教育課程を見直し、改善・充実する必要があります。